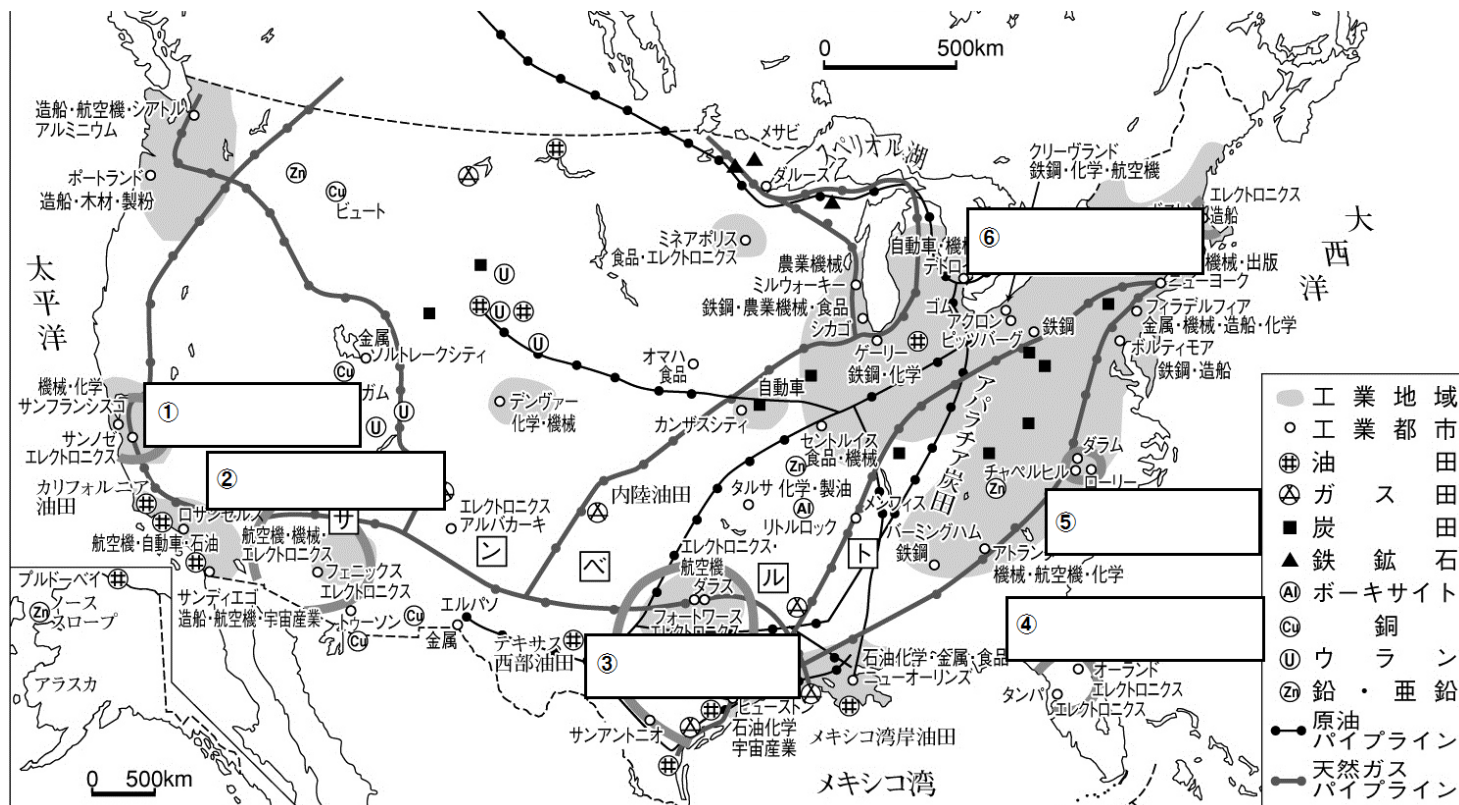


地誌 第32回「アングロ・アメリカ地誌(3) ～工業・国際関係～」

○今回のポイント

進展する科学技術と産業 (教科書 p.158～)



工業地域	特徴
シリコンバレー	西部。[⑦]州のサンタクララバレーのサンゼ付近。半導体・集積回路など
シリコンデザート	南西部。[⑧]州の州都フェニックス周辺地域。エレクトロニクス、IT、ソフトウェアなど
シリコンプレーン	南部。[⑨]州で集積回路、航空・宇宙産業などの先端技術。
エレクトロニクスベルト	南部。[⑩]州で集積回路、航空・宇宙・ソフトウェア。
リサーチトライアングルパーク	南東部。[⑪]州の東部で集積回路など先端技術産業が集積。
エレクトロニクスハイウェイ	北東部。郊外の[⑫] (ルート 128)沿いに電子機器工場が発達。

世界をリードする工業国

○20世紀のアメリカ (「世界の工場」は19世紀イギリス⇒20世紀アメリカ⇒21世紀中国)

- ・世界最大の工業国…地下資源+資本蓄積+移民労働力+技術革新
- ・[⑬]…ベルトコンベアー方式の流れ作業が出来る合理的な大量生産方式・製品管理
- ・[⑭]…エレクトロニクス、航空宇宙産業、バイオテクノロジーなど
- ・[⑮] (情報技術)…コンピュータ、インターネットなど

国際競争と産業構造の変化

(1)20 世紀前半までのアメリカ

・アメリカ北西部の発展…大西洋岸の[16]から[17]。メサビ鉄山とアパ
ラチア炭田が五大湖その水運で結びつき、[18]を中心とする国内最大の工業地域を形成。

(2)[19](北部の伝統的な工業地域)の衰退

EU、日本の工業発展



鉄鋼業、自動車産業で厳しい競争
技術革新の遅れ、品質管理の遅れ、高い労働賃金、ドル高、[20]



工場閉鎖・失業者増大・[21](2008 年リーマンショック～現在)



2009 年世界最大級の自動車会社[22]が倒産

(3)[23](北緯 37 度以南の新先端産業地域)の発展

温暖な気候、安い労働力、広い工業用地、財政的優遇措置



半導体・コンピュータ・情報技術関連企業の発展
(※カリフォルニアの[24]など※)

(4)[25]

第二次産業(工業など)から第三次産業(情報・サービス)への転換
多くの企業が賃金の安いメキシコなどに移転して多国籍化。



雇用の減少・[26]

(5)[27]へ

- 専門的知識を持った労働者が不足している先端技術・情報産業の分野では、海外からの人材を積極的に集める
- 生き残るには、知識産業が必要！！大学へ行け！！

技術革新と新しい工業

- ・研究開発における[28]
- ・新しい事業を支援する仕組み
- ・失敗を恐れない[29]

コンピュータ関連の
新しい技術やソフトウェア